

# 新しいビジネスをにいがたで始める

自分の会社を  
設立

仲間と思い切って起業

幼い頃から負けん気が強く、「みんなと違うかっこいい仕事をしたい」と思っていました。大工や住宅工事の現場監督として働いた後、人の暮らしにもっと寄り添いたいと考え、リフォーム工事の営業職に転職しました。毎日現場に行き、頻繁にお客さんと顔を合わせて、不安を解消しながら仕事を進めるのが私のこだわりです。自分の仕事に自信が付いてきて、私の考え方に共感してくれる仲間もできたことから、昨年思い切ってリフォーム業の会社を設立しました。

細やかな確認を大切に

起業当初は経営の知識が十分になかったため、会社の維持やお金のやりくりのことで悩み、どうしたらいいかわからなくなっていました。新潟IPC財団のサポートを知り相談に行ったら、私たちに合う経営のやり方を丁寧に教えてもらえました。また、事業の方向性を一緒に具体化してくれたおかげで、今は自信を持って事業を進めることができます。

徐々にお客さんからの信頼を得られるようになってきて、最近は順調に仕事を頂いています。これからも細やかな確認を大切にしながら、より多くの人の暮らしの満足度を高められるよう、4人で頑張っていきたいです。



リフォーム  
株式会社Livon舎(中央区窪田町1)  
代表  
**江部 咲子**さん  
プロフィール

昭和61年新潟市生まれ。市内の高校を卒業後、専門学校で建築を学ぶ。昨年9月に女性4人で同社を設立。2児の母で、休日は家族で過ごす時間を大切にしている

### 事業内容の具体化を支援

新潟IPC財団では、起業を考えている人向けに、事業内容の整理に使える検討シートや、事業概要書の様式見本を用意しています。  
※詳しくは同財団ホームページに掲載



「お客さんとのちょっとした関係づくりが大切だと思っています」と江部さん

海外で  
新事業を展開

## コーヒーかすで新素材を開発

新しいプラスチック素材が国内外から広く認知され、当社のビジネスとしての成功はもろろ、新潟の活性化にもつながるとうれしいですね。

また、新潟IPC財団からさまざまなサポートを受け、国内の大手コーヒーチェーン店の担当者に商品を開発する機会を得るなど、将来の事業展開を描くことにつながりました。  
今後はコーヒーかすの含有量をさらに高め、より環境負荷の低いプラスチックとして事業展開していきたいです。また、近い将来新潟に工場を作り、日本で廃棄されているコーヒーかすから国産のプラスチック素材を作りたいと考えています。

国内でも事業を成功させたい

私はこれまで、大きなビジネスチャンスを得るために多くの新事業開発に取り組んできました。ベトナムの子会社で新事業の立ち上げを検討していた時、コーヒーかすから環境に優しいプラスチックを生み出す研究に興味を持ち、3年前から現地の大学やベンチャー企業と共同開発を進めてきました。  
コーヒーかすを35%使用したプラスチックでマグカップを試作したところ、デザインやコンセプトが海外の顧客から好評を得ました。特に、ヨーロッパの大手自動車メーカーは、ショールームにきたお客さんに渡す記念品として商品を大量に購入してくれました。

マグカップを欧米で販売



投資・経営コンサルティング  
株式会社PNH(西区小南南2)  
代表取締役社長  
**小木 将綱**さん  
プロフィール

昭和47年新潟市生まれ。市内の高校を卒業後、バドミントンの実業団選手を経て、平成12年に同社を設立。現在は国内外に7つの子会社を持ち、IT、美容、不動産などさまざまな分野で事業を展開している

### 中小企業向けの支援制度を用意

新潟IPC財団では、独自の支援制度で、市内の中小企業の新事業開発や課題解決を支援しています。  
※詳しくは同財団ホームページに掲載



「今ごみになっているものを環境に優しい素材としてリサイクルすることに魅力を感じました」と小木さん